

# 前の机に置いてある 配布資料をお取りください。

---

- ▶ 時間割表
- ▶ 履修相談会のアンケート
- ▶ SweeTFooDのチラシ
- ▶ 協力サークルのチラシ

# 本日使用する資料①

---

## 配布資料

- ▶ 時間割表
- ▶ 履修相談会のアンケート
- ▶ SweeTFooDのチラシ
- ▶ 協力サークルのチラシ

# 本日使用する資料②

---

## 持参資料

- ▶ 履修の手引き（黄色冊子）
- ▶ 学務系システム利用の手引き（紫色冊子）
- ▶ 学生便覧（赤紫色冊子）
- ▶ 専門教育科目時間割表（紫色冊子）

# SweeTFooDについて

- ▶ 学生の視点を取り入れた、  
大学教育改善の活動を行っています。
- ▶ 主な活動
  - 履修相談会
  - 学生発案型授業
- i\*See

**興味がある人は、履修相談会  
終了後委員に声をかけてください!**

岡山大学  
**学生・教職員教育改善部会**  
(愛称 SweeTFooD)

履修相談会  
新入生の履修に関する不安や疑問を解消します。

学生発案型授業  
学生の視点で新しい授業を創作します。

私たちと一緒に、  
大学教育を考えてみませんか?

i\*See(アイシー)  
大学教育改善を考えるフォーラムを企画します。

その他  
オープンキャンパスや大学祭で企画を行います。

学生・教職員教育改善部会(SweeTFooD)とは、  
部活・サークルとは違い、全学教育・学生支援機構内の正式な組織です。「大学教育を良くするためには、  
教職員だけでなく学生の視点も必要」という考えのもと、広く教育改善に関する活動を行っています。  
全11学部から選出された学生と教職員、総勢60名ほどで構成されており、様々な人と関わることもできます。

新歓日程 4/10・17・24 5/8・15・22  
(いずれも水曜日)16:20~17:20  
※一般教育棟C棟3階 C320教室  
上記の日時・場所で活動紹介を行います。  
興味のある方はぜひご参加ください!  
お問い合わせ先: stfd@cc.okayama-u.ac.jp

公式HP 有志ブログ Twitter

# 4月8日からピーチユニオン3階で新たな取り組みを開始します！

# TABLE FOR TWO



Step1 ヘルシーメニューを食べる



Step2 20円の寄付金がTABLE FOR TWOへ



Step3 アフリカ・アジアに学校給食が届く

あなたがヘルシーな食事をとると、  
世界の子どもに笑顔が生まれます。

対象のヘルシーメニュー 1食を購入すると、NPO法人 TABLE FOR TWO を通じて  
アフリカ・アジアの子どもたちに温かい給食1食が届く仕組みです。

パルコ映像協力：株式会社ゼロヨン

写真提供：TABLE FOR TWO

あなたが  
ヘルシーランチ  
1回食べることで、  
誰かが給食1回  
食べられるという  
世界の新しいしくみ。

同じ地球上に、飢えに苦しむ人と食べ過ぎて不健康になっている人がいます。この相反する問題を同時に解決しようと思えたのがTABLE FOR TWOです。



当プログラムのヘルシーメニュー 1食につき  
20円が、開発途上国の給食1食分として寄付  
されます。時空を超えて二人で食べよう。

## TABLE FOR TWO

[www.tablefor2.org](http://www.tablefor2.org)

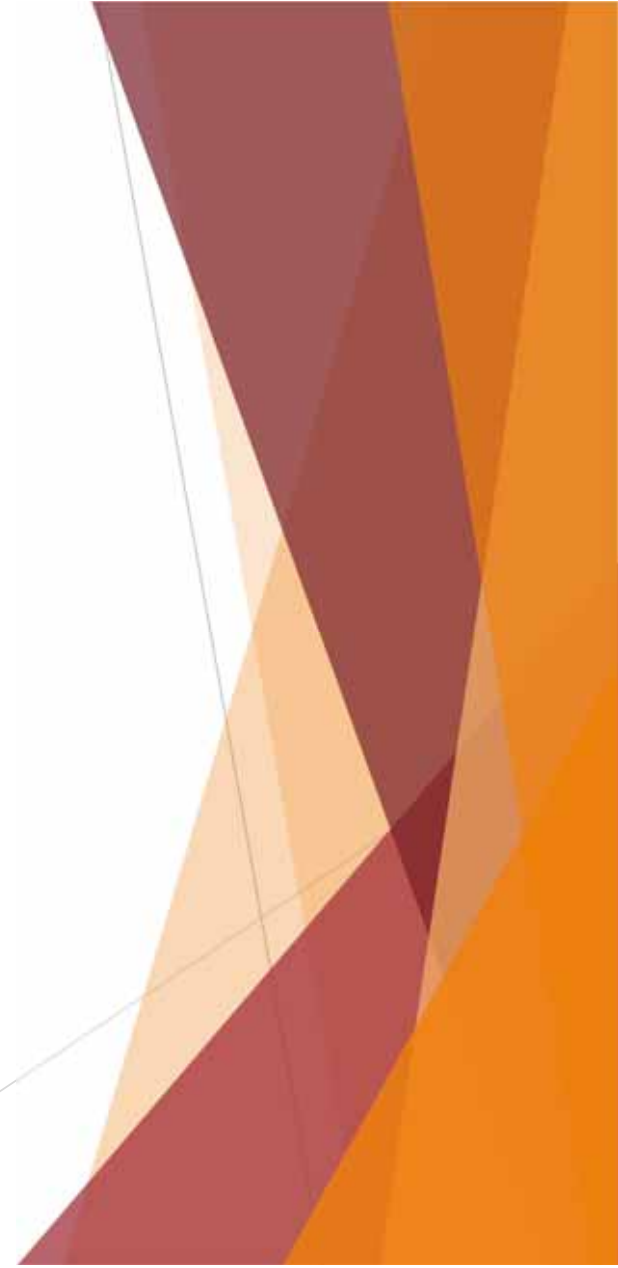
# 履修相談会

理学部 (物理学科・地球科学科)

# 目次

- ◆ 高校と大学の時間割の違い
- ◆ 時間割作成について
- ◆ 各システムについて
- ◆ 時間割モデル

# 高校と大学 時間割の違い





大きな違いは…

自分で時間割を作る

# 高校の時間割

基本的に学校が作ってくれている

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1限	国語総合	英語表現 I	世界史A	情報	生物基礎	数学A
2限	保健	数学 I	コミュ英 I	情報	世界史A	コミュ英 I
3限	数学 I	世界史A	化学基礎	国語総合	宗教	体育
4限	コミュ英 I	国語総合	数学 I	数学A	数学 I	化学基礎
5限	生物	芸術	国語総合	世界史A	コミュ英 I	
6限	総合	数学A	体育	生物	英語表現 I	

# 大学の時間割

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1限		微分概論	地ゼミ 3		
2限					
3限	大気科学 I		鉱物学 I		英コミュ
4限					
5限	地質実験	英コミュ			
6限					
7限					現代数学
8限					

# 目次

- ◆ 高校と大学の時間割の違い
- ◆ 時間割作成の基礎知識
- ◆ 各システムについて
- ◆ 時間割モデル

# 時間割を作るための 基礎知識

卒業するためには

C r e d i t

た ん い

単位

が必要

が必要

どのように単位を手に入れる？

**講義で成績60点以上をとる**

## 成績評価 履修の手引き P15,16

A+	90~100点
A	80~89点
B	70~79点
C	60~69点
<b>F</b>	<b>59点以下</b>

**60以上（C以上）で  
単位認定**

GPA(Grade Point Average)

：成績を数値化して算出した平均値

→履修の手引きP16



## ○時間割作成(基礎)

[岡山大学学則 第39条 第1項]

卒業の要件は、第4条に規定する修業年限以上在学し、

**124単位**以上を各学部の定めるところにより修得する。

**卒業要件単位**

**卒業までに124単位**

何も考えずに  
単位を取っておけば卒業できるのか？

**NO**

卒業するために取るべき講義がある程度決まっている

学生便覧 P,35(教養) P,37(物理) P,40(地球科)

## 卒業要件単位

教養教育科目

30単位

専門教育科目

94単位

# 教養教育科目

科目区分			卒業要件単位					
			必修	選択必修	計			
知的理解	現代と社会	「人文・社会科学系科目」	2 単位	4 単位以上				
	現代と生命	「生命科学系科目」	2 単位					
	現代と自然	「自然科学系科目」 (注1)	2 単位					
言語	初修外国語		4 単位			4 単位以上		
	日本語	応用日本語 ※留学生のみ						
	英語	プレ上級英語						
		上級英語						
		英語特別演習1						
		英語特別演習2						
		英語(スピーキング)-1	0.5 単位					
		英語(スピーキング)-2	0.5 単位					
		英語(リーディング)-1	0.5 単位					
		英語(リーディング)-2	0.5 単位					
		英語(ライティング)-1	0.5 単位					
		英語(ライティング)-2	0.5 単位					

学生便覧 P,35(教養) P,37(物理) P,40(地球科)

## ○必修、選択必修とは

- ・ 必修科目

⇒必ず修得しなければならない科目

- ・ 選択必修科目

⇒ある決められた科目の中から

何単位修得しなさいと決められた科目

○地球科学科

科目区分	履修区分	配当年次	授業科目	単位数	卒業要件単位	
専門基礎科目	選択必修	1年次	基礎微積分学Ⅰa	1	12	
			基礎微積分学Ⅰb	1		
			基礎微積分学Ⅱa	1		
			基礎微積分学Ⅱb	1		
			現代数学要論Ⅰa	1		
			現代数学要論Ⅰb	1		
			現代数学要論Ⅱa	1		
			現代数学要論Ⅱb	1		
			基礎物理学Ⅰa	1		
			基礎物理学Ⅰb	1		
			基礎物理学Ⅱa	1		
			基礎物理学Ⅱb	1		
			一般化学Ⅰ	1		
			一般化学Ⅱ	1		
			基礎有機化学Ⅰ	1		
			基礎有機化学Ⅱ	1		
			基礎生物学Ⅰa	1		
			基礎生物学Ⅰb	1		
			基礎生物学Ⅱa	1		
			基礎生物学Ⅱb	1		
基礎物理学実験	1					
基礎化学実験	1					
基礎生物学実験	1					
	必修	1年次	地球科学ゼミナール1	1	23	
			地球科学ゼミナール2	1		
			現代地球科学1	1		
			現代地球科学2	1		
			現代地球科学3	1		
			現代地球科学4	1		
			基礎地球科学実習	1		
		2年次	地球科学ゼミナール3	1		
			地球科学ゼミナール4	1		
			地球科学ゼミナール5	1		
			地球科学ゼミナール6	1		
			3年次	地球科学ゼミナール7		1
				地球科学ゼミナール8		1
4年次	地球科学輪講	4				
	課題研究	6				

学生便覧 P,35

## 教養教育科目について補足

○必修と選択必修が両方ある授業科目(知的理解など)

取得した単位は

必修→選択必修

の順にカウントとされる



# 教養教育科目

科目区分			卒業要件単位					
			必修	選択必修	計			
知的理解	現代と社会	「人文・社会科学系科目」	2 単位	4 単位以上				
	現代と生命	「生命科学系科目」	2 単位					
	現代と自然	「自然科学系科目」 (注1)	2 単位					
言語	初修外国語		4 単位			4 単位以上		
	日本語	応用日本語 ※留学生のみ						
	英語	プレ上級英語						
		上級英語						
		英語特別演習1						
		英語特別演習2						
		英語(スピーキング)-1	0.5 単位					
		英語(スピーキング)-2	0.5 単位					
	英語	英語(リーディング)-1	0.5 単位					
		英語(リーディング)-2	0.5 単位					
		英語(ライティング)-1	0.5 単位					
		英語(ライティング)-2	0.5 単位					



## 教養教育科目～英語～

### 必修

英語 (スピーキング)  
英語 (ライティング)  
英語 (リーディング)  
英語 (リスニング)  
英語 (S & L)  
英語 (R & W)

クラス分けは自動的に  
決定される

### 選択

プレ上級英語  
上級英語  
英語特別演習

人数制限や  
GTECスコア  
による制限もあり

# 教養教育科目～初修外国語～

## A群

ドイツ語、フランス語  
中国語、韓国語

## B群

ロシア語、スペイン語  
イタリア語

### A群初級の授業

①標準：60分×1コマ/週2回

月3or4と木5or6

②インテンシブ：60分×2コマ/週2回

月7/8と木7/8

詳しくは  
学務による  
履修説明会で

日時：15:15~16:15

場所：A41教室

## ○留意すべき点

- 資格(資格を取るための必要単位がある) 学生便覧P,61~  
⇒教職免許・学芸員資格・測量士補など  
→教職課程については別に説明会がある
- 他学部履修 学生便覧P,45  
⇒他学部の講義を履修した際の卒業要件単位の認定には条件がある場合がある。

## ○留意すべき点

- 進級要件 学生便覧P,43  
⇒4年次進級に条件がある
- 単位数上限  
⇒一年間に取得できる単位数は60単位である。
- 抽選  
⇒教養科目の多数は抽選が必要な講義である  
指定の期間に抽選登録すること。

# 進級要件

学生便覧  
p.42~43

## 6. 課題研究の履修要件(4年次進級要件)について

課題研究(化学科は課題研究Ⅱ)の履修開始時期は、3月または7月となります。  
また、単位によっては1科目から2科目履修可能科目まで含む場合がありますので、3年次履修計画書に定める場合は、その履修計画(または履修計画)へ対応すること。

### 数 学 科

- (1) 卒業要件単位を94単位以上取得していること。
- (2) 専門基礎科目の必修科目を9単位取得していること。
- (3) 3年次専門科目の必修科目を19単位取得していること。
- (4) 数学Ⅰ、2年次履修の専門科目(必修を除く)のうち10単位以上取得していること。

### 物 理 学 科

- (1) 卒業要件単位を94単位以上取得していること。
  - (2) 「物理学実験1」、「物理学実験2」及び「物理学実験3」を取得していること。
- ※ ただし、第3年次編入学生については、上記(2)の内、「物理学実験1」及び「物理学実験2」を取得したものとみなす。

### 化 学 科

#### 課題研究Ⅱの履修要件(4年次進級要件)

- (1) 卒業要件単位を90単位以上取得していること。
  - (2) 「基礎化学実験1, 2」、「化学実験1-4」、「化学実験法1-4」及び「課題研究1」をすべて取得していること。
  - (3) 2年次までの専門科目の必修科目(「基礎化学実験1, 2」、「化学実験1」及び「化学実験法1」を除く)を14単位以上取得していること。
  - (4) 専門科目の選択及び選択必修科目を20単位以上取得していること。
- ※ ただし、第3年次編入学生については、以下の要件を適用する。
- (1) 卒業要件単位を90単位以上取得していること。
  - (2) 「基礎化学実験1, 2」、「化学実験1-4」、「化学実験法1-4」及び「課題研究1」をすべて取得していること。
  - (3) 2年次までの専門科目の必修科目(「基礎化学実験1, 2」、「化学実験1」及び「化学実験法1」を除く)を12単位以上取得していること。
  - (4) 専門科目の選択及び選択必修科目を24単位以上取得していること。

#### 課題研究Ⅰ(3年次第4学期で履修)の履修要件

- 3年次第3学期開始時までに(夏季集中講義を含む)
- (1) 卒業要件単位を80単位以上取得していること。
  - (2) 「基礎化学実験1, 2」、「化学実験1-3」及び「化学実験法1-3」をすべて取得していること。
  - (3) 2年次までの専門科目の必修科目(「基礎化学実験1, 2」、「化学実験1」及び「化学実験法1」を除く)を14単位以上取得していること。
  - (4) 専門科目の選択及び選択必修科目を22単位以上取得していること。
- ※ ただし、第3年次編入学生については、以下の要件を適用する。
- (1) 卒業要件単位を74単位以上取得していること。
  - (2) 「基礎化学実験1, 2」、「化学実験1-3」及び「化学実験法1-3」をすべて取得していること。
  - (3) 2年次までの専門科目の必修科目(「基礎化学実験1, 2」、「化学実験1」及び「化学実験法1」を除く)を12単位以上取得していること。
  - (4) 専門科目の選択及び選択必修科目を18単位以上取得していること。

再履修又は半年遅れで履修する場合のみ、課題研究Ⅰの第2学期での履修を認める。  
その場合、第1学期開始時までの取得単位数で履修要件を満たすかを判断する。

### 生 物 学 科

- (1) 卒業要件単位を100単位以上取得していること。
- (2) 教養教育科目の必修科目21単位も取得していること。
- (3) 3年次までの専門科目の必修科目をすべて取得していること。

※ ただし、岡山大学農学部への留學経験(帰国)により3年次第3-4学期前週の必修科目を履修できなかった化学進級については、3年次第3-4学期必修科目を4単位に履修することとなる。この場合、課題研究Ⅱは生物学科で対応し、履修を許可された教員のもとで課題研究Ⅱを行う。

### 地 球 学 科

- (1) 卒業要件単位を90単位以上取得していること。
- (2) 教養教育科目のうち、高年次教養科目を除く必修科目20単位を取得していること。
- (3) 2年次までの専門科目の必修科目をすべて取得していること。
- (4) 3年次までの専門科目の選択必修科目のうち、実験・実習科目を5単位以上と、実験・実習科目以外の科目を20単位以上取得していること。

※ ただし、第3年次編入学生については、上記(3)のうち、「地球科学ゼミナール5」及び「地球科学ゼミナール6」は、課題研究の履修要件に含まない。

# 上限制

1年間に履修できる科目数には制限がある！

確認してみよう！  
学生便覧 P.44



60単位まで  
(1年間)

※ 認定科目、補習科目などは上限制にかからない。

「グローバル人材育成特別コース」履修生は対象外。

## ○抽選登録・履修登録期間

	抽選登録期間	追加募集期間	履修登録期間
1学期			4月4日（木）～ 4月12日（金）
2学期・夏季集中	5月8日（水）～ 5月16日（木）	5月23日（木）～ 5月29日（水）	4月4日（木）～ 6月19日（水）
3学期	8月28日（水）～ 9月12日（木）	9月20日（金）～ 9月25日（水）	9月27日（金）～ 10月4日（金）
4学期・冬季、春季集中			9月27日（金）～ 12月6日（金）

# 目次

- ◆ 高校と大学の時間割の違い
- ◆ 時間割作成について
- ◆ 各システムについて
- ◆ 時間割モデル



# 各システムの利用方法

# ○Webシラバスについて

- Webシラバスの利用方法

「岡山大学 シラバス」で検索  
↓  
「岡山大学のシラバス」をクリック  
↓  
「シラバス検索」

学務系システム利用の手引き  
P.27～32

# WEbシラバスの見方

調査番号	912205
授業科目	情報処理入門1(情報機器の操作を学ぶ)
担当教員(所属)	村上 昌己(91:教養教員)
学期	2019年度 Q:1学期
曜日・時間	月曜1, 木曜1
単位数	1
教室	
ナンバリングコード	UILZ0LANZ1**1N
印刷用ページ	<a href="https://ps.okayama-u.ac.jp/campusweb/campusquare.do?_flowId=5YW4101101-flow&amp;hendo=2019&amp;shozoku=91&amp;pikanwari=2205&amp;keylocale=ja_JP">https://ps.okayama-u.ac.jp/campusweb/campusquare.do?_flowId=5YW4101101-flow&amp;hendo=2019&amp;shozoku=91&amp;pikanwari=2205&amp;keylocale=ja_JP</a>
科目区分	2019年度入学者: 教養教育科目/汎用的技能と健康(情報教育) 2018年度入学者:- 2017年度入学者:- 2018年度以前入学者は、講義番号が異なる場合がありますので、以下のHPをご確認ください。 ( <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/timetableindex/vtn1/">http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/timetableindex/vtn1/</a> )
対象学生	2019年度入学者: 理 2018年度入学者:- 2017年度入学者:- 2018年度以前入学者は、講義番号が異なる場合がありますので、以下のHPをご確認ください。 ( <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/timetableindex.htm1/">http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/timetableindex.htm1/</a> )
必修・選択の別	必修
他学部学生の受修の可否	対象学生の科目を参照
連絡先	murak-m@okayama-u.ac.jp
オフィスアワー	随時(メールによる事前予約を要す)
学部・研究科独自の項目	関連しない
使用言語	日本語
授業の概要	パソコンやスマートフォン等の情報機器は、インターネットの普及により日常生活に不可欠な存在である。さらに、個人情報の安全・安心は増々求められる。情報セキュリティの脅威への対応能力や情報リテラシー能力が求められている。しかし、実際は情報リテラシー能力や情報コミュニケーションにおける情報モラルは十分ではなく、社会的・倫理的なトラブルが発生している。 本授業では、実習を通じてパソコン、スマートフォン等の基本的な操作と情報リテラシーについて学習し、情報化社会に必要な基本的な知識と技術を習得する。 なお、個人の所有するパソコンを持ち込みに実習を含む授業形態である。
学習目的	情報化社会に必要なICTの基本的な知識と技術を修得し、情報機器を的確に利用してできる情報リテラシーと情報マナーを身につける。
到達目標	(1) 本学のICTサービスを使用することができる (2) インターネットを介した情報の取扱いや発信を安全に行うことができる (3) インターネット上の著作権を正しく引用することができる

(4)授業形態-履修者への連絡事項	本授業は、150名前後のクラス規模で実習を含めた講義形式で実施する。教科書を始め、資料はすべてmoodleに登録、eラーニングでの自学習が可能な形態である。そのため、各自が主体的に授業に参加し、不明な点や疑問点は、moodleで各教員に問い合わせる等の授業時間外の積極的な活動が必要である。 履修においては、各回の授業内容の重要事項を説明し、その確認試験としての小テストを行う。なお、特別な配慮を必要とする場合は、事前に相談すること。
使用メディア・機器・人的支援の活用-視覚的メディア(PowerPointのスライド、CD、DVDなど)	多い
使用メディア・機器・人的支援の活用-学習管理システム(Moodleなど)	多い
使用メディア・機器・人的支援の活用-人的支援(ゲストスピーカー、TA、ポスターなど)	多い
使用メディア・機器・人的支援の活用-履修者への連絡事項	使用する機器は、各自の所有するノートPCを基本とし、各自必ず持参して受講すること。教科書を始め、資料はすべてmoodleに登録、eラーニングでの自学習が可能な形態である。なお、特別な配慮を必要とする場合は、事前に相談すること。
教科書	日経BP社「Windows10&Office活用講座」 ※上記教科書購入により、下記2つのコンテンツが利用可能となる - 電子ブック「学生のための「情報」基礎 - 改訂版」 - 「日経/パソコンedu」の4年間のアクセス権 (注) 本教科書は、資格処理入門2、3でも利用する。
参考図書	「日経/パソコンedu」を参照、活用すること。その他、必要に応じて各自でインターネットによる情報検索を活用すること。
成績評価	出席は10回以上を成績対象とする。10回に満たない場合は、たとえ9回出席していても成績評価を行わない。 成績は、3回の小テスト、最後の授業確認試験、および、演習の評価結果により総合的に評価する。
担当教員の研究活動との関連	担当教員は情報通信技術に関する研究を行っている。この講義は、担当教員の専門分野を広く情報リテラシーをはじめ、インターネット社会においてICTを利活用するために必要な技術の基礎と学習者層において必要な情報技術を教授するものである。
受講要件	特になし
教職課程該当科目	情報処理該当科目
JABEEとの関連	(g) 自主的、継続的に学習する能力 (h) 与えられた業務の下で計画的に仕事を遂行、まとめる能力
主なSDGs関連項目1	該当なし
主なSDGs関連項目2	該当なし
主なSDGs関連項目3	該当なし
備考/履修上の注意/実務経験の内容	本授業は全学年向けの必須科目であるとともに、教職課程のための科目としてのも位置づけられている。教職課程を修得する学生は、本科目と、情報処理入門2、または3のいずれかの科目の2単位の履修が必須であるので注意されたい。 本科目は、全学必修科目である。そのため、履修単位数取得を要する。単位取得に失敗した場合は、次年度の同じ学期に開講する再履修科目を選択すること。 35

**教室  
担当教員  
授業計画  
教科書  
成績評価  
注意事項  
など**

# ○抽選登録について

- ・指定の抽選登録期間にWeb上で行う

「岡山大学 抽選」で検索  
↓  
「履修登録及び成績の確認について」をクリック  
↓  
「Web抽選登録」

学務系システム利用の手引き  
P.17～20

# ○履修登録について

学内限定

- ・学務システムを用いる

「岡山大学 学務システム」で検索  
↓  
「学務システムの利用方法」をクリック  
↓  
「学務システム」

学務系システム利用の手引き  
P.7~11

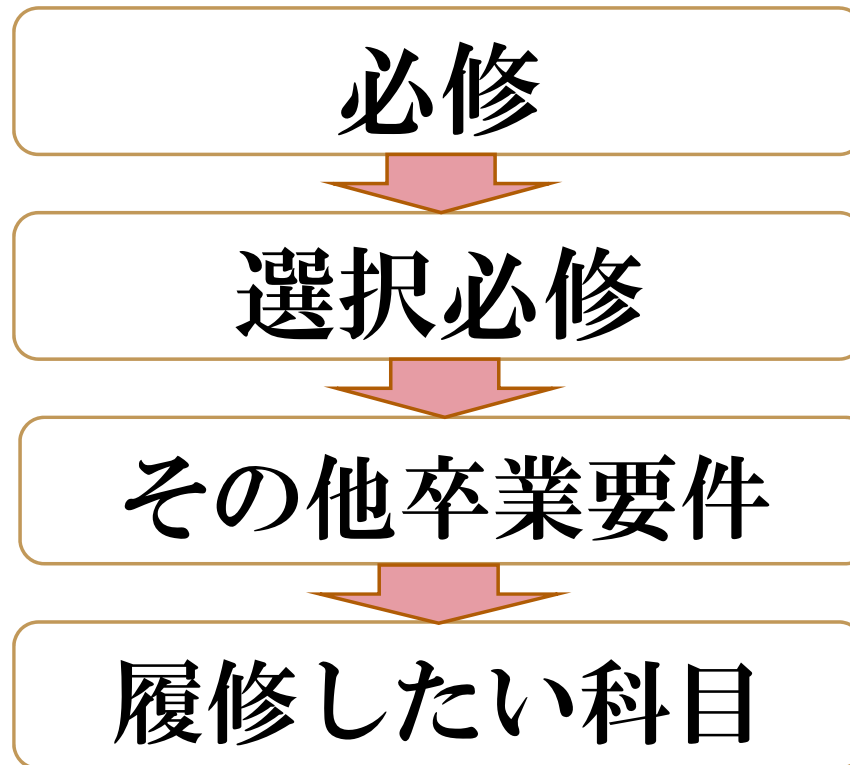
# 目次

- ◆ 高校と大学の時間割の違い
- ◆ 時間割作成について
- ◆ 各システムについて
- ◆ 実際に時間割を組む

# 実際に時間割を組む

# ○時間割作成(実践)

時間割に埋める優先度





## ○時間割作成(実践)

確認事項

確認媒体

卒業要件単位

学生便覧

授業日時  
講義番号

専門：専門教育科目時間割  
教養：履修の手引き

授業詳細

Webシラバス

	現代と自然	「自然科学系科目」	(注1)	2単位		
言語	初修外国語			4単位	4単位以上	
	日本語	応用日本語	※留学生のみ			
	英語	ブレ上級英語				
		上級英語				
		英語特別演習1				
		英語特別演習2				
		英語(スピーキング)ー1		0.5単位		
		英語(スピーキング)ー2		0.5単位		
		英語(リーディング)ー1		0.5単位		
		英語(リーディング)ー2		0.5単位		
		英語(ライティング)ー1		0.5単位		
		英語(ライティング)ー2		0.5単位		
		英語(リスニング)ー1		0.5単位		
		英語(リスニング)ー2		0.5単位		
		英語(S&L)ー1		1単位		
		英語(S&L)ー2		1単位		
	英語(R&W)ー1		1単位			
	英語(R&W)ー2		1単位			
実践知・感性	実践知	「実践・社会連携系科目」			26単位	
	芸術知	「芸術系科目」				
汎用的技能と健康	情報教育	情報処理入門1(情報機器の操作を含む)		1単位		
		情報処理入門2(情報機器の操作を含む)				
		情報処理入門3(情報機器の操作を含む)				
		「ICT(Information & Communication Technology)系科目」				
	キャリア教育	「キャリア教育・学生支援系科目」				
	健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学				
スポーツ演習(する・みる・支える)			(注2)			



## 第1学期 月曜日

※抽選対象科目には、★・●又は☆印がついています。  
 詳細: ★・・・40頁参照, ●・・・34頁参照, ☆・・・35頁参照

時限	科目区分	授業科目	単位数	講義番号	担当教員	教室	履修対象の学部・学科等			抽選対象科目	備考
							2019年度入学者	2018年度入学者	2017年度入学者		
1	導入教育(ガイダンス)	『キャリア形成基礎講座』	0.5	910211	中山 芳一・坂入 信也・町田 尚史	A41	工(機・情)	工(機・情)	工(機・情)		
		『キャリア形成基礎講座』	0.5	910212	中山 芳一・坂入 信也・町田 尚史	A21	工(電・化)	工(電・化)	工(電・化)		
	汎用的技能と健康(情報教育)	情報処理入門1(情報機器の操作を含む)	1	912204	岡山 聖彦	E11	農	-	-		情報リテラシー系科目 第1学期木曜1限とセットで履修すること
		情報処理入門1(情報機器の操作を含む)	1	912205	村上 昌己	B41	理	-	-		情報リテラシー系科目 第1学期木曜1限とセットで履修すること
		情報処理入門1(情報機器の操作を含む)	1	912206	河野 圭太	B33	理	-	-		情報リテラシー系科目 第1学期木曜1限とセットで履修すること
	言語(英語)	英語(スピーキング)-1	0.5	913001	内田 クレア	A35	社会系	-	-		
		英語(スピーキング)-1	0.5	913002	EVANS ROBERT JOHN	D23	社会系	-	-		
		英語(スピーキング)-1	0.5	913003	CALDWELL ANDREW JOHN	D41	社会系	-	-		
		英語(スピーキング)-1	0.5	913004	LE GRAND JR. JAMES	A34	社会系	-	-		
		英語(スピーキング)-1	0.5	913005	ROBINSON DAVID IAN	B31	社会系	-	-		
		英語(スピーキング)-1	0.5	913006	PRICHARD CALEB SYLVE	A43	社会系	-	-		
		英語(スピーキング)-1	0.5	913007	POTGIETER ANTON	B25	社会系	-	-		
		英語(スピーキング)-1	0.5	913008	MEIKI SUSAN MARY	D42	社会系	-	-		

# 時間割モデル

# 物理学科 1Q

	月	火	水	木	金
1	情報処理入門	力学	微分積分学	情報処理入門	一般化学 or 基礎有機化学
2	キャリア形成 基礎講座			岡山大学 入門講座	
3	力学演習	自然科学入門 (物理)		英語	物理数学
4			初修外国語		
5	英語	物理学実験			線形代数学 or 基礎地球科学
6	初修外国語				
7					現代数学要論
8					

# 物理学科 20

	月	火	水	木	金
1		力学	微分積分学		一般化学 or 基礎有機化学
2					
3	力学演習	自然科学入門 (物理)		英語	物理数学
4				初修外国語	
5	英語	物理学実験			線形代数学 or 基礎地球科学
6	初修外国語				
7					現代数学要論
8					

# 地球科学科 1Q

	月	火	水	木	金
1	情報処理入門	基礎物理学	基礎微分積分学	情報処理入門	一般化学
2	キャリア形成 基礎講座	or 基礎生物学		岡山大学 入門講座	or 基礎有機化学
3		自然科学入門 (地球科学)	現代地球科学	英語	
4				初修外国語	
5	英語				
6	初修外国語				
7					現代数学要論
8					

# 地球科学科 20

	月	火	水	木	金
1		基礎物理学 or 基礎生物学	基礎微分積分学		一般化学 or 基礎有機化学
2					
3		自然科学入門 ( )	現代地球科学	英語	
4				初修外国語	
5	英語				
6	初修外国語				
7					現代数学要論
8					



# 分からないときは...

- ▶ 各学部の教務へ

質問内容をまとめてから相談に行きましょう

- ▶ SweeTFooDへ

この後、一般教育棟C棟C32で個別対応を受け付けます！

{午前の部は12:30~13:00、午後の部は16:30~17:00}

公式TwitterのDM・質問箱でも受け付けています。